

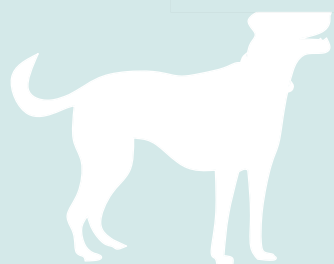
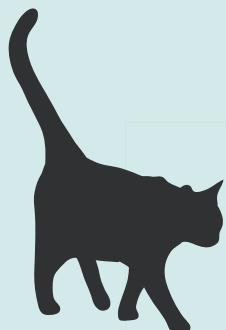
株式会社DT(ANELLA Group)

ANELLA CAFE



会社説明

2025.4.1



会社概要

社 名 : 株式会社DT
代表者名 : 代表取締役CEO 伊東大輝
設立年月 : 2017年11月10日
従業員数 : 約60名
資本金 : 3,133万円

オフィス : 〒158-0086

東京都世田谷区尾山台3-21-2
スピックアンドスパン



保護頭数は
2,500頭を突破



2009年

個人での保護活動
をスタート



2017年

株式会社DT設立
創業当初の頃は、
映像制作会社と
シェアハウス事業。



2019年

1店舗目となる
トリミングサロン兼
保護施設
「ペットサロン
ピンクビーチ」
を千葉県一宮にOPEN



2021年

保護シェルター&
ふれあいカフェ
「ANELLA CAFE
(アネラカフェ)」
を新宿にOPEN



2022年

ふれあいから里親
が見つかる事に機
会を感じANELLA
CAFEの2号店を
千葉県流山にOPEN



2023年

ANELLA CAFE3号
店となる佐倉店をオ
ープン。※流山に続
き、就労支援との複
合型2店舗目。

保護活動と障がい
福祉を組み合わせ
た活動を開始。
ANELLA 就労継続
支援B型を流山市に
オープン。

解決したい課題

①約43,000頭の犬猫の殺処分問題

- ↳保健所での殺処分 11,906頭
- ↳ペットショップでの売れ残り 約5,600頭
- ↳繁殖業者の流通過程での死亡 約26,249頭

②約94.2%の障がい者の就労環境

- ↳一般企業で雇用の障がい者5.8%を除く 約1,092万人

寄付や募金で成り立つ保護活動や、
障がい者の働く環境を改善したい

従来の保護団体の課題

1.収益性の低さ

└ほとんどが**寄付・募金**で成り立つ非営利団体



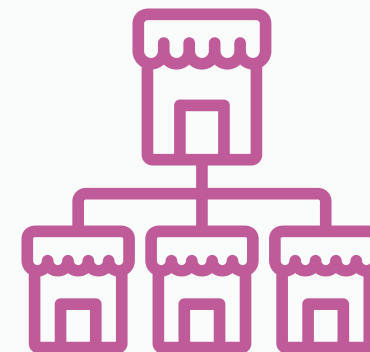
2.雇用が不安定

└スタッフがほぼ全員**ボランティア**



3.PR力の不足

└保護施設の**多店舗展開型**が存在しない



従来の保護団体について

保護犬活動=主にボランティア活動



団体=寄付集め

個人=寄付集めはしない

よって、仕事をしながらのボランティアとなり、救えるわんこの頭数が少ない。

例1)

広島ピースわんこジャパン

ふるさと納税で約8億円集まったが、約2500頭崩壊し、施設内での死亡も約700頭。

約150頭の赤ちゃんも生まれていた。

広告費に約9000万円かけていたが、わんこの幸せや健康管理は度返し、いわゆる飼い殺しにしている状態。

わんこは糞尿まみれ、餓死、共食い。近親感での交配により奇形が多く産まれる。

約7人のスタッフによるボランティアだが、寄付集めの為の活動だったとも捉えられる。

日本の障がい者を取り巻く環境

日本の障がい者数

790万人 (平成23年) ▶ 990万人 (平成30年) 11年間で
146%に！

2022年には、ついに
1,160万人に到達

うち約900万人は軽中度の障害

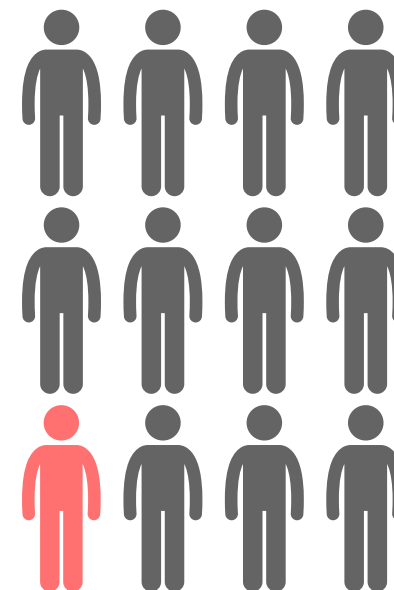
軽度知的障がい 双極性障がい
発達障がい ASD ADHD 睡眠障がい など

就労継続支援B型に該当

日本の障がい者数

日本9.2% **約10人に1人が**
障がいを抱えています。

ドイツ 15%
アメリカ 20%



※厚生労働省データより

なぜやるのか？

- 行政の運営する保健所では、責任のある個別承認が難しいから
- 民間の保護シェルターも資金不足や仕組みに限界があるから
- 街の景色で唯一、時間が止まっているこの産業を根本から変えたいから
- 働きたい！と思える障がい者就労施設がほとんどないから



保護団体ANELLAとは？

- ✓ 日本初寄付・募金無しの団体
- ✓ 常時300頭前後の保護頭数
- ✓ 国内最大級の保護団体
- ✓ 譲渡実績3,000頭以上

ANELLA CAFEとは？



ANELLA CAFE



「保護犬・猫の里親探し」に加え
“保護犬・猫とのふれあい”
というアニマルセラピーを通じた
「障がい者の方々への就労支援」
の二つを目的とした
全く新しい形の保護シェルター



ペットショップで見る 我々の立ち位置

順位	企業	店舗数
1位	COO&RIKU	215
2位	ペテモ	197
3位	ペットショップ ワンラブ	177
4位	Pet Plus	133
5位	ペットワールドアミーゴ	83
6位	ペットファースト	74
7位	ペットの専門店コジマ	56
8位	ホームセンタームサシ	38
9位	ペットアミ	33
10位	ANELLA CAFE	9 (35)

2年後

1年後

半年後

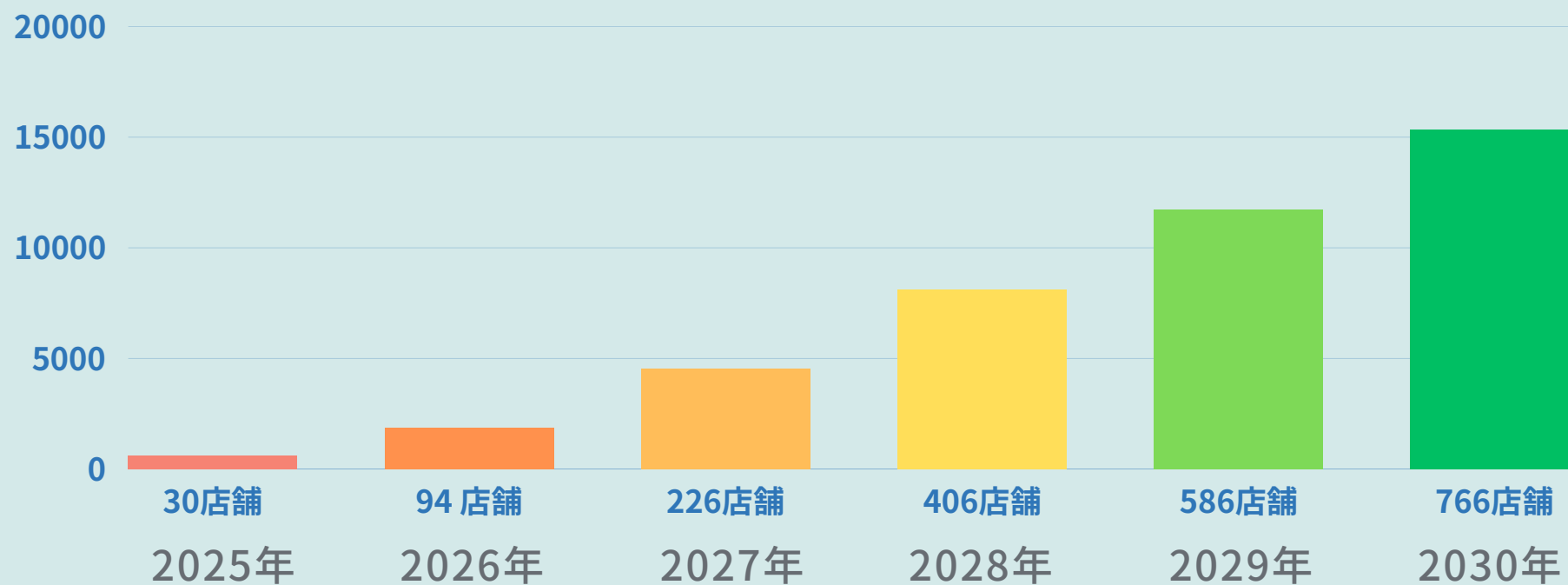
現在



みんなで頑張ったら実現できること

犬猫の同時保護 収容頭数

単位：〇〇頭



さいごに / みんなで目指す未来

5年で700店舗

フランチャイズシステムを使い、3年間で400店舗、5年間で700店舗出店し、ペット業界のインフラを改革。

殺処分を0に

ペットショップを含めても、業界最大の店舗数という武器で、アネラだけでも保護犬猫15,000頭の受け入れを可能にし、本気で殺処分を0に。

